

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年1月14日

【四半期会計期間】 第25期第3四半期(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

【会社名】 株式会社ライフフーズ

【英訳名】 Life Foods Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 清水 三夫

【本店の所在の場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役
兼執行役員総務本部長 吉岡 利行
兼財務部長

【最寄りの連絡場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役
兼執行役員総務本部長 吉岡 利行
兼財務部長

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次	第24期 第3四半期 累計期間	第25期 第3四半期 累計期間	第24期 第3四半期 会計期間	第25期 第3四半期 会計期間	第24期
会計期間	自 平成21年 3月1日 至 平成21年 11月30日	自 平成22年 3月1日至 平22年 11月30日	自 平成21年 9月1日至 平成21年 11月30日	自 平成22年 9月1日至 平成22年 11月30日	自 平成21年 3月1日至 平成22年 2月28日
売上高 (千円)	8,769,269	8,885,724	2,784,629	2,894,303	11,454,369
経常利益 (千円)	225,337	225,179	44,192	54,075	200,488
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	77,728	109,576	48,633	32,151	60,837
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)					
資本金 (千円)			1,838,526	1,838,526	1,838,526
発行済株式総数 (株)			18,302,000	18,302,000	18,302,000
純資産額 (千円)			3,441,759	3,315,453	3,424,753
総資産額 (千円)			7,463,591	7,897,410	7,592,464
1株当たり純資産額 (円)			188.07	181.17	187.14
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 又は1株当たり四半期 純損失金額() (円)	4.25	5.99	2.66	1.76	3.32
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)					
1株当たり配当額 (円)					
自己資本比率 (%)			46.1	42.0	45.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	25,737	112,224			303,538
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	177,847	233,972			516,502
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	237,317	685,867			132,792
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			2,677,504	3,239,968	2,207,904
従業員数 (名)			301	283	285

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、四半期連結累計（会計）期間等に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。また、持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第24期第3四半期累計（会計）期間、第25期第3四半期会計期間、第24期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。第25期第3四半期累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3 【関係会社の状況】

当社は、関係会社が存在しないため、該当事項はありません。

4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成22年11月30日現在

従業員数(名)	283 (1,355)
---------	---------------

- (注) 1 従業員数は、嘱託契約の従業員及び準社員を除く就業人員であります。
- 2 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均人員(1日8時間換算)であります。
- 3 臨時従業員には、パートタイマーの従業員を含み、嘱託契約の従業員及び準社員を含んでおります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当社は、最終消費者へ直接販売する飲食業を行っておりますので、生産実績は記載しておりません。

(2) 仕入実績

当第3四半期会計期間における仕入実績を業態別に示すと、次のとおりであります。

業 態	仕入高(千円)	前年同期比(%)
ザめしや	458,022	97.2
街かど屋(ザめしや24)	167,398	107.9
めしや食堂	119,517	112.6
讃岐製麺	159,852	170.5
めしやっこ	5,879	41.3
その他	2,042	5.1
合 計	912,712	103.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期会計期間における販売実績を業態別に示すと、次のとおりであります。

業 態	販売高(千円)	前年同期比(%)
ザめしや	1,433,273	99.0
街かど屋(ザめしや24)	528,701	110.0
めしや食堂	345,750	112.5
讃岐製麺	565,320	149.4
めしやっこ	17,251	41.5
その他	4,005	3.1
合 計	2,894,303	103.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについても重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期会計期間におけるわが国の経済は、依然として高水準な失業率や、欧米での金融不安の影響など懸念材料がある中で、政府の景気刺激策の効果一巡や企業の慎重な設備投資等、先行き不透明な状況が続いております。外食産業におきましても、雇用の悪化に伴う個人消費の低迷が続く厳しい環境の中で、物価が緩やかなデフレ状態になり、商品やサービス内容及び価格競争が激しさを増しております。また、実所得の減少を主因とした将来への不安から消費者心理の悪化により依然厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は収益性の向上を目指し、「讃岐製麺」と定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開をおこない、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めてまいりました。

また、当社設立25周年記念キャンペーンや「街かど屋」ではスタンプカードや携帯クーポンメールの配信等、販売促進活動を実施しており、消費者ニーズに対応したフェアを通じて企業価値の向上に努めてまいりました。

当第3四半期会計期間での店舗展開につきましては、新規出店は2店舗、閉店は4店舗となった結果、店舗数は120店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期会計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は2,894,303千円（前年同期比 3.9%増）、営業利益は47,872千円（前年同期比 26.5%増）、経常利益は54,075千円（前年同期比 22.4%増）、四半期純利益は32,151千円（前年同期比 33.9%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により3,892,282千円（前事業年度末は3,305,973千円）となりました。設備投資や納税等の支払いがありました。銀行から1,100,000千円の資金調達をしたことにより現金及び預金等が増加したためです。有形固定資産は、減価償却が進んだことや閉店及び減損損失等による特別損失計上の影響で2,126,848千円（前事業年度末は2,317,636千円）、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,837,054千円（前事業年度末は1,929,254千円）となり、資産の部合計は、7,897,410千円（前事業年度末は7,592,464千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の減少と1年内返済予定の長期借入金の増加等により2,078,234千円（前事業年度末は2,142,908千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により2,503,723千円（前事業年度末は2,024,802千円）となり、負債の部合計は4,581,957千円（前事業年度末は4,167,711千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の減少等により3,315,453千円（前事業年度末は3,424,753千円）となりました。これにより、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は42.0%（前事業年度末は45.1%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は第2四半期会計期間末に比べ579,254千円増加し、3,239,968千円となっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益28,418千円となったものの、減価償却費63,841千円、減損損失17,166千円や店舗閉店による固定資産除却損31,163千円等の非資金取引があったことで190,731千円の収入（前年同期は50,401千円の収入）となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店のための有形固定資産の取得による支出68,297千円、定期預金の預入による支出200,000千円等がありましたが、閉店等による差入保証金の回収による収入35,219千円、定期預金の払戻しによる収入900,000千円等があったことにより、668,163千円の収入（前年同期は4,662千円の収入）となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出284,956千円等の影響で、279,640千円の支出（前年同期は24,681千円の収入）となっております。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期会計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因

当第3四半期会計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期会計期間において、前四半期会計期間末において計画中であった店舗について完了したものは次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	業態別の名称	設備の内容	投資額(千円)	完了年月	完成後の増加能力 (席)
大垣禾森店 (岐阜県大垣市)	讃岐製麺	店舗設備	51,681	平成22年10月	62
東淀川大桐店 (大阪市東淀川区)	讃岐製麺	店舗設備	62,732	平成22年11月	76
合計			114,413		138

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 完成後の増加能力欄については、店舗の客席数を記載しております。
3 前四半期会計期間において新たに店舗が確定した上新庄店は東淀川大桐店に事業所名を変更しております。

当第3四半期会計期間において、新たに店舗が確定した店舗は次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	業態別の名称	設備の内容	投資予定額(千円)		資金調達 方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力 (席)
			総額	既支払額				
太平通店 (名古屋市中川区)	街かど屋	店舗設備	44,500		借入金 割賦 リース	平成22年12月	平成23年2月	37
合計			44,500					37

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 完成後の増加能力欄については、各店舗の客席数を記載しております。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成22年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,302,000	18,302,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	18,302,000	18,302,000		

- (注) 1 発行済株式は、完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
2 大阪証券取引所（JASDAQ市場）は平成22年10月12日付けで同取引所へラクレス市場及びNEO市場とともに、新たに開設された同取引所JASDAQに統合されており、同日以降の上場金融商品取引所は大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年9月1日～ 平成22年11月30日		18,302,000		1,838,526		1,537,526

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成22年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり単元株式数は1,000株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,300,000	18,300	同上
単元未満株式	普通株式 1,000		(注)
発行済株式総数	普通株式 18,302,000		
総株主の議決権		18,300	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式667株が含まれております。

【自己株式等】

平成22年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ライフフーズ	大阪府吹田市江坂町 1丁目13-41	1,000		1,000	0.0
計		1,000		1,000	0.0

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
最高(円)	146	155	155	153	161	159	149	145	147
最低(円)	140	145	147	146	148	141	140	134	133

(注) 最高・最低株価は、平成22年3月31日以前はジャスダック証券取引所、平成22年4月1日から平成22年10月11日は大阪証券取引所（JASDAQ市場）、平成22年10月12日以降は大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、本四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期会計期間(平成21年9月1日から平成21年11月30日まで)及び前第3四半期累計期間(平成21年3月1日から平成21年11月30日まで)は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第3四半期会計期間(平成22年9月1日から平成22年11月30日まで)及び当第3四半期累計期間(平成22年3月1日から平成22年11月30日まで)は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期会計期間(平成21年9月1日から平成21年11月30日まで)及び前第3四半期累計期間(平成21年3月1日から平成21年11月30日まで)に係る四半期財務諸表並びに当第3四半期会計期間(平成22年9月1日から平成22年11月30日まで)及び当第3四半期累計期間(平成22年3月1日から平成22年11月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,439,968	2,807,904
売掛金	12,035	9,118
商品	6,891	6,896
原材料及び貯蔵品	51,656	51,330
繰延税金資産	108,782	122,583
その他	272,947	308,141
流動資産合計	3,892,282	3,305,973
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1 1,848,019	1 2,023,745
その他	1 278,829	1 293,891
有形固定資産合計	2 2,126,848	2 2,317,636
無形固定資産	41,225	39,599
投資その他の資産		
差入保証金	1,445,909	1,556,468
繰延税金資産	251,301	214,914
その他	140,354	158,682
貸倒引当金	510	810
投資その他の資産合計	1,837,054	1,929,254
固定資産合計	4,005,128	4,286,490
資産合計	7,897,410	7,592,464
負債の部		
流動負債		
買掛金	307,861	574,570
1年内償還予定の社債	20,000	-
1年内返済予定の長期借入金	839,824	722,260
未払法人税等	43,598	62,249
賞与引当金	131,511	78,189
その他	735,438	705,638
流動負債合計	2,078,234	2,142,908
固定負債		
社債	70,000	-
長期借入金	1,578,014	1,309,210
長期預り保証金	178,131	183,377
退職給付引当金	255,346	245,070
その他の引当金	64,883	89,956
その他	357,347	197,187
固定負債合計	2,503,723	2,024,802
負債合計	4,581,957	4,167,711

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	58,985	50,590
自己株式	382	382
株主資本合計	3,316,684	3,426,260
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	1,231	1,507
評価・換算差額等合計	1,231	1,507
純資産合計	3,315,453	3,424,753
負債純資産合計	7,897,410	7,592,464

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	1 8,769,269	1 8,885,724
売上原価	2,645,912	2,629,383
売上総利益	6,123,357	6,256,341
販売費及び一般管理費	2 5,923,831	2 6,052,681
営業利益	199,526	203,659
営業外収益		
受取利息	7,196	5,789
受取家賃	205,069	203,247
その他	38,861	43,498
営業外収益合計	251,128	252,535
営業外費用		
支払利息	26,181	31,757
賃貸収入原価	193,855	193,305
その他	5,279	5,952
営業外費用合計	225,316	231,015
経常利益	225,337	225,179
特別利益		
固定資産売却益	500	-
受取補償金	-	48,619
国庫補助金	4,889	-
過年度損益修正益	2,125	-
特別利益合計	7,514	48,619
特別損失		
有形固定資産売却損	727	5,224
有形固定資産除却損	10,833	73,115
減損損失	54,852	204,017
固定資産臨時償却費	-	18,427
店舗閉鎖損失	9,149	65,149
固定資産圧縮損	4,889	-
その他	3,398	5,755
特別損失合計	83,851	371,690
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	149,001	97,891
法人税等	3 71,272	3 11,684
四半期純利益又は四半期純損失()	77,728	109,576

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	1 2,784,629	1 2,894,303
売上原価	840,210	865,460
売上総利益	1,944,419	2,028,842
販売費及び一般管理費	2 1,906,562	2 1,980,969
営業利益	37,856	47,872
営業外収益		
受取利息	2,184	1,658
受取家賃	65,646	67,688
その他	12,314	13,604
営業外収益合計	80,145	82,951
営業外費用		
支払利息	8,864	11,086
賃貸収入原価	62,947	64,414
その他	1,997	1,247
営業外費用合計	73,809	76,748
経常利益	44,192	54,075
特別利益		
受取補償金	-	48,619
特別利益合計	-	48,619
特別損失		
有形固定資産売却損	727	5,224
有形固定資産除却損	204	31,163
減損損失	-	17,166
店舗閉鎖損失	553	20,721
特別損失合計	1,486	74,276
税引前四半期純利益	42,706	28,418
法人税等	3 5,927	3 3,733
四半期純利益	48,633	32,151

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	149,001	97,891
減価償却費	204,051	189,987
減損損失	54,852	204,017
固定資産臨時償却費	-	18,427
店舗閉鎖損失	-	65,149
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	1,737	-
賞与引当金の増減額(は減少)	38,180	53,321
退職給付引当金の増減額(は減少)	14,231	10,275
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,507	23,587
貸倒引当金の増減額(は減少)	26	300
受取利息及び受取配当金	7,196	5,789
支払利息	26,181	31,757
有形固定資産売却損益(は益)	227	5,224
固定資産除却損	10,833	73,115
売上債権の増減額(は増加)	3,284	2,916
たな卸資産の増減額(は増加)	9,599	321
仕入債務の増減額(は減少)	364,107	266,709
未払消費税等の増減額(は減少)	1,068	18,523
その他の資産の増減額(は増加)	102,936	18,712
その他の負債の増減額(は減少)	199,444	104,055
その他	4,889	1,509
小計	36,612	188,450
利息及び配当金の受取額	4,514	4,430
利息の支払額	29,080	34,419
法人税等の支払額	37,785	46,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,737	112,224
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	300,000	1,200,000
定期預金の払戻による収入	500,000	1,600,000
有形固定資産の売却による収入	500	600
有形固定資産の取得による支出	103,387	246,192
無形固定資産の取得による支出	730	4,230
差入保証金の差入による支出	18,083	18,366
差入保証金の回収による収入	81,907	84,894
貸付けによる支出	-	400
貸付金の回収による収入	17,641	17,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	177,847	233,972

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	590,266	713,632
社債の発行による収入	-	98,490
社債の償還による支出	-	10,000
セール・アンド・割賦バック取引に基づく資産 売却代金の受入額	262,181	274,925
割賦債務の返済による支出	34,586	63,912
配当金の支払額	11	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	237,317	685,867
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	389,428	1,032,064
現金及び現金同等物の期首残高	2,288,076	2,207,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,677,504	1 3,239,968

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第3四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)及び当第3四半期会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日至平成22年11月30日)	
1 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用する方法によっております。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末 (平成22年2月28日)
1 有形固定資産に係る国庫補助金の受入れによる圧縮記帳累計額 建物 33,368千円 その他 5,626千円	1 有形固定資産に係る国庫補助金の受入れによる圧縮記帳累計額 建物 33,368千円 その他 5,626千円
2 有形固定資産の減価償却累計額は、3,908,589千円であります。	2 有形固定資産の減価償却累計額は、3,999,142千円であります。

(四半期損益計算書関係)

第3四半期累計期間

前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)																								
<p>1 当社の売上高は、連休や夏休みなど休日が第1及び第2四半期会計期間に多くなることにより、第3及び第4四半期会計期間に比べ高くなる季節的変動があり、営業利益以下においても第1及び第2四半期会計期間に偏る傾向があります。</p> <p>2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給与手当</td> <td>839,909千円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>1,771,380</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>154,069</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>28,239</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>3,599</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>1,291,091</td> </tr> </table> <p>3 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>	給与手当	839,909千円	賃金	1,771,380	賞与引当金繰入額	154,069	退職給付費用	28,239	役員退職慰労引当金繰入額	3,599	賃借料	1,291,091	<p>1 同左</p> <p>2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給与手当</td> <td>809,858千円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>1,846,003</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>129,372</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>63,108</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>4,047</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>1,265,840</td> </tr> </table> <p>3 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>	給与手当	809,858千円	賃金	1,846,003	賞与引当金繰入額	129,372	退職給付費用	63,108	役員退職慰労引当金繰入額	4,047	賃借料	1,265,840
給与手当	839,909千円																								
賃金	1,771,380																								
賞与引当金繰入額	154,069																								
退職給付費用	28,239																								
役員退職慰労引当金繰入額	3,599																								
賃借料	1,291,091																								
給与手当	809,858千円																								
賃金	1,846,003																								
賞与引当金繰入額	129,372																								
退職給付費用	63,108																								
役員退職慰労引当金繰入額	4,047																								
賃借料	1,265,840																								

第3四半期会計期間

前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)																								
<p>1 当社の売上高は、連休や夏休みなど休日が第1及び第2四半期会計期間に多くなることにより、第3及び第4四半期会計期間に比べ高くなる季節的変動があり、営業利益以下においても第1及び第2四半期会計期間に偏る傾向があります。</p> <p>2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給与手当</td> <td>275,204千円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>576,462</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>43,920</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>9,413</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>1,176</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>422,614</td> </tr> </table> <p>3 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>	給与手当	275,204千円	賃金	576,462	賞与引当金繰入額	43,920	退職給付費用	9,413	役員退職慰労引当金繰入額	1,176	賃借料	422,614	<p>1 同左</p> <p>2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table> <tr> <td>給与手当</td> <td>266,978千円</td> </tr> <tr> <td>賃金</td> <td>607,356</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>56,948</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>20,603</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>1,398</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>413,980</td> </tr> </table> <p>3 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>	給与手当	266,978千円	賃金	607,356	賞与引当金繰入額	56,948	退職給付費用	20,603	役員退職慰労引当金繰入額	1,398	賃借料	413,980
給与手当	275,204千円																								
賃金	576,462																								
賞与引当金繰入額	43,920																								
退職給付費用	9,413																								
役員退職慰労引当金繰入額	1,176																								
賃借料	422,614																								
給与手当	266,978千円																								
賃金	607,356																								
賞与引当金繰入額	56,948																								
退職給付費用	20,603																								
役員退職慰労引当金繰入額	1,398																								
賃借料	413,980																								

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年11月30日現在) (千円)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年11月30日現在) (千円)
現金及び預金 2,677,504	現金及び預金 3,439,968
現金及び現金同等物 2,677,504	預入期間が3か月超の定期預金 200,000
	現金及び現金同等物 3,239,968

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成22年11月30日)及び当第3四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	18,302,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期会計期間末
普通株式(株)	1,667

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日
が当四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間末(平成22年11月30日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期会計期間末(平成22年11月30日)

当社の利用しているデリバティブ取引は、金利スワップ取引のみであり、ヘッジ会計を適用しているため記載を省略しております。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末 (平成22年2月28日)
181.17円	187.14円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末 (平成22年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	3,315,453	3,424,753
普通株式に係る純資産額(千円)	3,315,453	3,424,753
普通株式の発行済株式数(千株)	18,302	18,302
普通株式の自己株式数(千株)	1	1
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	18,300	18,300

2 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額等

第3四半期累計期間

前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額 4.25円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額() 5.99円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	77,728	109,576
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	77,728	109,576
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,300	18,300

第3四半期会計期間

前第3四半期会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)
1株当たり四半期純利益 2.66円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 1.76円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	48,633	32,151
普通株式に係る四半期純利益(千円)	48,633	32,151
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	18,300	18,300

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)及び当第3四半期累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

著しい変動がないため記載を省略しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年1月8日

株式会社ライフフーズ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 石 黒 訓 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 溝 口 聖 規 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ライフフーズの平成21年3月1日から平成22年2月28日までの第24期事業年度の第3四半期会計期間(平成21年9月1日から平成21年11月30日まで)及び第3四半期累計期間(平成21年3月1日から平成21年11月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ライフフーズの平成21年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年1月6日

株式会社ライフフーズ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 石 黒 訓 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 溝 口 聖 規 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ライフフーズの平成22年3月1日から平成23年2月28日までの第25期事業年度の第3四半期会計期間(平成22年9月1日から平成22年11月30日まで)及び第3四半期累計期間(平成22年3月1日から平成22年11月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ライフフーズの平成22年11月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。